

第2回せんだい農業園芸センター拠点B運営事業者評価委員会 議事概要

日 時 令和7年6月26日(木) 14:55～16:15

場 所 せんだい農業園芸センター 管理研修棟 会議室1

出席委員 5名:阿部 祐子、伊藤 秀雄、伊藤 房雄、小尻 真一郎、水野 由貴
(五十音順, 敬称略)

事務局 経済局農林部農林企画課

内 容 1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

(1) 募集要項(案)について

資料1

(2) 評価基準(案)について

資料2

(3) その他の関連資料について

資料3

4. その他

5. 閉会

要 旨

1. 委員会の開催について

委員6名中5名の出席により、「せんだい農業園芸センター拠点B運営事業者評価委員会設置要綱」(以下「要綱」)第6条第2項の規定による定足数(過半数)を満たすことを確認した。

2. 会議の公開及び議事録署名委員の選任について

要綱第6条第5項の規定により、会議は非公開とし、伊藤房雄委員長及び伊藤秀雄委員を議事概要署名人として選任した。

3. 議事

(1) 募集要項(案)について

【説明】

事務局より、資料1に基づき、せんだい農業園芸センター拠点B運営事業提案型事業募集要項(案)について説明。

【審議】

委員長 前回委員会の意見を反映させたものになっていると思う。

募集要項(案)について、資料1の内容で募集の準備を進める。

(2) 評価基準(案)について

【説明】

事務局より、資料2に基づき、せんだい農業園芸センター拠点B運営事業提案型事業募集評

評価基準（案）について説明。

【質疑応答】

委員長 「その他防災対策」とは、何をイメージしているのか。

事務局 主に津波を考えているが、他の災害も含め避難計画等があると評価対象となる。

委員長 センターで熱中症になった人や救急車を呼んだ事例はあるのか。

事務局 市民農園利用者の具合が悪くなった等報告されており、頻回にあると思われる。

委員長 すぐに救急車を呼ぶというのは防災対策に入ると思う。簡単に記載があるとよいのではないか。バリアフリーについては（２）③に含まれているか。

事務局 施設計画等でバリアフリーに配慮している旨等記載してもらえるとよい。

委員 防災対策は拠点Ｂのエリアだけで行うものではないと思うが、新設した「防災への対策」の評価は拠点Ｂエリアのみの内容で行い、拠点Ａと連携が必要なものは⑨両拠点の連携で評価するのか。

事務局 実際には両エリア連携して取り組むことになると思うが、まずは拠点Ｂの事業者がどう考えているかを評価し、拠点Ａと連携して取り組みたい場合は記載いただくとよい。

委員 現在の防災対策は何か。

事務局 津波の避難計画を作成している。

委員長 事業継続計画を作成していたら得点加算となるか。

事務局 評価の対象となりうる。

委員長 事業者の評価について、各委員の採点結果を議論し、最終的な得点を確定させ全員で最優秀提案と次点提案を決めるという流れでよいか。

委員 その場合、各委員の点数を合計して順位を決めるということか。

事務局 委員一人ひとりで採点していただき、結果が出そろった後、異なる評価があった場合に意見を聞く機会を設け、得点の修正を行っても構わないと考えている。

委員 各委員の意見を一覧にして発表し、Ａ評価とＥ評価があった場合、その評価をした委員から意見を聞いて総合評価を決めていくという方法もあるのではないか。

委員長 応募数は多くはないと思われるので、ＡやＥの極端な評価がついた場合、議論を行って過大評価や過小評価を修正し、点数を合計すれば自ずと優れた提案が決定するのではないか。

評価基準（案）について、委員会の意見を踏まえ資料２を修正し募集の準備を進める。

（３）その他の関連資料について

【説明】

事務局より、資料３に基づき、せんだい農業園芸センター拠点Ｂ運営事業提案型事業募集要項関連資料（案）について説明。

【質疑応答】

委員長 パース図等の添付は可能か。

事務局 任意様式の追加は可能である。

委員 様式 3-2 の事業計画の収支計画の記載内容は、項目を指定したほうが事業者間の比較ができ評価しやすい。現在の光熱費等の情報は提供するとよい。収入が細目にわたっていると見やすい。

委員 前回選定時は提案書に図面等を用いて図示していたか。イメージする際に図面があるとういのではないか。

事務局 関連図面集として図面のデータを応募者に提供する。

委員長 収支計画と合わせて目標を示すと、目標に応じてどう収入や経費が変動していくかがわかり、評価をしやすい。

委員 応募者は、現在の運営に関するデータを提供してもらえると計画を作成しやすい。

委員長 前回公募時の計画書は公開できるか。

事務局 公開はしていないが、提供は可能。

農業園芸センターの運営協議会において、毎年事業者が年間の収支を報告し、市が評価を行っている。数字を確認し、関心のある事業者に必要な限り情報として提供できるようにしたい。

委員 現在の経費がわからないと、事業者としては応募しにくい。

委員 10 年間分の経費を一度に支払うのか。

事務局 10 年間の市の負担額合計の上限額を 1,033,000 千円とし、10 年契約を締結予定である。市は単年度会計のため、各年度の予算を決め、一年ごとに支払う。

委員 運営スタッフの人数の情報があると応募者がイメージしやすい。

事務局 体制も含め、数字を確認する。

委員長 コロナ禍があったわりに入場者数の変動が小さい。

事務局 密室ではなく、駐車場も無料のため入場者数があまり落ち込まなかったのではないか。

委員長 他の公募では応募事業者が 3 年連続赤字が続いていると不適切という評価となることもある。過去 3~5 年分の財務諸表を提出させないのか。

事務局 募集要項において過去 3 年分の決算資料を求めている。

その他の関連資料について、委員会の意見を踏まえ修正し募集の準備を進める。

上記のとおり第 2 回せんだい農業園芸センター拠点 B 運営事業者評価委員会の議事に相違ないことを証するため、ここに議事概要署名人が署名する。

令和 7 年 8 月 1 日

議事概要署名人

伊藤 房雄

議事概要署名人

伊藤 孝雄

以上